

令和5年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒ふるさとミュージアム				
所在地	生駒市山崎町11番7号				
指定管理者名	株式会社 地域文化財研究所	指定期間	開始日	令和 5 年 4 月 1 日	
利用料金制適用区分	利用料金制		終了日	令和 10 年 3 月 31 日	
選定方法	公募	評価実施年	指定期間 5 年のうち 1 年目		
設置目的	生駒の歴史を標榜し、市民の皆さまが過去・現在の生駒を思い、未来の都市像を予測して頂くための施設の設定				
主な実施事業等	常設展示、企画展示、特別展示、体験型普及啓発事業、講座、講演会、資料の収集・保存・調査・研究・教育普及等				

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
来館者数 大人	人	-	5,151	98.7%	
来館者数 子ども	人	-	1,957	81.5%	
来館者数 合計	人	9,000以上	7,108	93.3%	
館外事業参加者数	人	800以上	754	101.8%	
多目的室利用	件	350以上	249	81.4%	

3 事業収支

		事業計画	事業報告(実績)	(参考)前年度実績
収入計	A	29,085,000	29,256,110	29,476,960
指定管理料		27,970,000	27,970,000	27,931,000
利用料金収入	C	175,000	118,930	247,590
自主事業収入		520,000	758,820	771,850
その他		420,000	408,360	526,520
支出計	B	29,008,000	28,998,470	28,631,385
指定事業費		28,565,000	28,448,480	28,215,535
うち人件費	D	12,280,000	12,137,120	12,560,921
うち再委託料	E	3,462,000	3,507,190	3,423,583
自主事業費		443,000	549,990	415,850
事業収支	A-B	77,000	257,640	845,575
利用料金比率	C/A	0.6%	0.4%	0.8%
人件費比率	D/B	42.3%	41.9%	43.9%
再委託費比率	E/B	11.9%	12.1%	12.0%
補足説明(必要に応じて記入)				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無	有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他()
実施結果	意見内容等		対応実績等
	<ul style="list-style-type: none"> 勾玉の形を増やして欲しい。 生駒の歴史と文化入門講座において、希望する内容を取り扱ってほしい。 生駒の歴史について知りたい。 		<ul style="list-style-type: none"> 夏休みに向けて勾玉の形を増やし、リピーターに繋がる工夫を行った。 入門講座の内容について、アンケートの要望で多かった内容を講師の方と相談しながら決めた。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）	
指定管理者による自己評価	「生駒ふるさとミュージアムの管理に関する基本協定書」、「生駒ふるさとミュージアム管理運営基本仕様書」、「生駒ふるさとミュージアム管理業務特記仕様書」に基づき、施設の維持管理を行いながら、施設の設置目的である生駒の歴史文化の普及に資する事業を実施している。また、専門業者による燻蒸作業を行い、古文書等の収蔵資料にかかる保存管理を行った。
市の評価	基本協定書、基本仕様書及び特記仕様書に基づき、登録有形文化財としての施設の維持管理と、歴史文化の発信拠点としての運営が行われている。コロナ禍の影響がほとんどなくなり、事業や展示を中止することなく当初の年度計画どおりに管理運営を行えたことは評価できる。毎月の月次報告において利用者に対するレファレンス内容の報告を受けているが、適切に対応できている。
市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）	
指定管理者による自己評価	広報いこまちのほか、当館HPやX(旧Twitter)、Instagram、Facebookに加え、LINEを新たに運用開始した。情報発信ツールを最大限活用し、イベントや講座の年齢層に適した告知を行った。また、夏休み前には勾玉のチラシを市内小学校全児童に配布しより多くの来館に繋げる事ができた。
市の評価	広報いこまちの読者層以外の多様な世代にリーチするため、新たに公式LINEアカウントの運用を開始したことは評価できる。より効果的な告知に繋げるため、各ツールの更新頻度を計画的に上げていくことや、来館者をこれらSNSのフォローにつなげていく取組を期待したい。夏休み前の市内小学校児童へのチラシ配布は直接的な来館促進へと繋がっており、保護者連絡システム「すぐー」も活用しながらイベントの告知や情報発信もこまめに行っていくことを期待している。
利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）	
指定管理者による自己評価	来館者には通常アンケート、特別展・企画展観覧者、講演会受講者からの様々な意見・要望を取り入れるため、各種アンケートを行っている。去年度の回答数が156人に対し、今回は534人から回答を得ることができた。市内からの来館者の次に、県外からも多く来られており、少しずつでも周知が広がっていることが分かった。生駒の歴史と文化入門講座の開催は今年度で8年目となる。講座の受講者は60代以上が95%を占め、約8割が3回以上のリピーターである。アンケートのコメントでも、「ずっと続けてもらいたい」「大変勉強になる」といった内容が多く、今後も参加者の意見を聞きながらテーマを決めていきたい。
市の評価	アンケート内容を見直す等アンケート取得促進計画を継続的にを行い、回答数を3倍以上に増やし成果を挙げたことは高く評価できる。アンケート回答結果から利用者満足度の高さが伝わるが、アンケート内で要望のあった意見や事項は積極的に施設の運営や事業企画に活用・反映し更なるリピーター獲得へとつなげていただきたい。定期開催のミュージアム講演会受講者においては、リピート率も高く一定のファン獲得を成し遂げていることは評価できるが、講座受講者の年齢層が限定的となっているため、異なった世代向けのテーマ選別等、新しいアプローチも進められたい。
経費の縮減等の効果（効率性）	
経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	作業体験室や多目的室等の空調のこまめな調整、使用者のいない部屋やトイレの節電、温水機器の節電モードなどの日々の省エネ活動のほか、裏紙の再利用や古ファイルの再利用等、光熱水費・消耗品費の削減を積極的に行っている。
市の評価	昨今の物価高騰や人件費高騰等外的要因が増える中、限られた予算を有効に活用するため、経費縮減に向けた取組を継続されている。施設の設置目的に資する取組のさらなる向上に向け、経費削減だけでなく必要などころには経費を投じるなど、引き続きメリハリのある経費の執行をお願いしたい。
収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）	
指定管理者による自己評価	夏休みの勾玉体験の申込は、去年度とほぼ同数の参加となる一方、放課後等デイサービスの勾玉体験が年々増えてきており、そのような団体向けの勾玉作り体験の充実も図っていきたい。更にリピーターも新規の方も増やせるように、新しい工夫をしていく必要がある。冬にはミュージアムの一大イベントの一つである餅つき大会を4年ぶりに開催した。保健所との連携、洗浄・消毒等を徹底する中、会場は多くの親子連れや遠方からの参加者の方で賑わいを見せていた。
市の評価	夏休みの勾玉体験団体利用が増えている点は、現在の体験内容が評価されている証拠でもあり、高く評価できる。貸室に関しても新たな利用者層獲得のため、既利用団体の毎年の継続利用促進や口コミ等による利用の拡大に努められたい。人気のある餅つき大会が再開し多くの参加者を得たことは喜ばしい要素であるが、このようなイベントに参加された市民を特別展及び企画展を始めとするミュージアムの主力事業への参加に誘導していくための具体的な取組を期待したい。

適正な施設の管理運営（適正性）

施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）

指定管理者による自己評価

7月に行われた文化財防犯・防火・防災関係者連絡会議に参加した。定期的に館長を中心に学芸員のミーティング等を行い、ミュージアム内の情報の共有を図っている。
 広報活動については、広報いこまちやSNSに加え、新聞各社やメディアでの広報活動を積極的に行った。特別展、企画展は読売新聞や朝日新聞、奈良新聞の日刊紙に掲載していただいた。
 環境行動の取組状況については、SDGs推進課が行っている「環境行動取組データ」を日々作成し、3か月ごとに提出している。
 地域との連携については、ボランティアの方々には特別展・企画展の展示替え補助の他、4年ぶりに開催となった餅つきイベント、お正月あそび等のお手伝いをしていただき、一緒にイベントを盛り上げていただいた。他にも「囲碁のまち生駒プロジェクト」や「高山茶釜の会wi-wi」の地域の団体とコラボレーションをし、より多くの参加に繋げることができた。今後も連携してイベントを開催していきたい。

市の評価

近年、館長を中心とした職員体制が固定化できており、勤務の継続による能力向上や接遇向上が見られ、今後も職員の定着と更なる能力向上を期待したい。必要な研修の受講や資料の購入等については経費も必要となるが、市と都度協議の上積極的に取り組まれない。
 報道資料投げ込みの効果も成果として表れており、市と連携し、積極的な周知を継続されたい。
 環境行動の取組状況についても、適切な対応を継続されている。
 ボランティアスタッフの事業への参加も順調に行われており、来館者の満足度向上にも寄与している。ボランティアスタッフや地域団体とのコラボレーションから派生する口コミも効果があり、多方面からのファン獲得を今後も期待したい。

自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）

指定管理者による自己評価

今年度新規に試みた「親子で学ぶ歴史教室」では、生駒の地名の由来や駅前の移り変わりを映像を使ってわかりやすく説明し、ミュージアム内に隠されたヒントを見つけてクイズを解いてもらった。この機会をきっかけに、親子で生駒の歴史文化に興味をもってもらいたい。出前授業は前回の6校に加え、俵口小学校の2年生も行った。生駒の火祭りについて、写真や道具を使って分かりやすく説明した。今後も3年生以外の学年への授業も積極的に行っていきたい。
 職場体験は3年ぶりに行い、資料の整理や生駒の昔の写真を使ったフィールドワークを行い、学芸員について楽しく学んでもらった。

市の評価

自主事業の新規企画の提案や検討は毎月の月例報告会時に行うなど、市と協議しながら新たな事業を生み出す努力を継続されている。令和5年度も新規事業を開催できたことは評価でき、今後も年度に1事業は生み出せるよう、引き続き事業の企画検討に努められたい。
 出前授業の実施校数を例年一定数継続できていることは、授業内容を評価されている証拠でもあり、異動した先生の口コミも効果的であると感している。自分の住んでいる土地の歴史を知ることが地域愛の醸成に繋がり、施設の設定目的の達成にも寄与する取組であることから、今後も継続的な実施に向け学校との連携を進められたい。

安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）

指定管理者による自己評価

講座の申込等で収集した個人情報の取扱いなど、「個人情報保護法」を遵守し、業務を行っている。事故発生時の緊急連絡体制・事案については「危機管理マニュアル」に基づき、スタッフで共有し、有事に備えている。これまでコロナの影響で制限が出ていた人数や内容も今年度から徐々に緩和しているが、引き続き手指消毒、履き終えたスリッパのアルコール消毒等、来館者の安全に配慮した管理運営を行っている。

市の評価

講座の申込等で収集した個人情報は必ず鍵の付いている場所に保管する等、取扱いは「個人情報保護法」を遵守した運営を確認しており、引き続き徹底した対応をお願いしたい。「危機管理マニュアル」の共有も本社・館内で定期的に行い、緊急連絡体制も月例報告時に毎回確認し、有事に備えられている。
 維持管理に必要な各種点検を漏れなく実施されているとともに、修繕が必要な箇所等は迅速に相談があり、協議を行ったうえ実施ができていたり、感染症予防等の取組を継続するなど来館者の安全に配慮していることは評価できる。

サービスの安定的な提供（安定性）

事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）

指定管理者による自己評価

継続的な経費削減、事業内容に応じた参加費の設定等により、黒字の収支となった。今後も施設本来の目的達成に向け、安定的な運営と質の向上を図りながら、来館者から高い満足度を得られるよう努めたい。

市の評価

安全に配慮した運営を行いながら、安定した収支を継続していただいていることは高く評価できる。自主事業の収支も黒字で運営できており、先述の新規事業のような新しい自主事業の展開や、イベントで新たに来館された市民をミュージアムの主力事業に誘導するための情報発信や働きかけなどに積極的に取り組まれ、更なる収入増加と新たなファン獲得に期待したい。

6 指定管理者の財務の状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資産	64,316,804	39,549,408	26,198,232
流動資産	60,610,669	33,867,803	21,133,572
固定資産	3,706,135	5,681,605	5,064,660
負債	60,225,016	52,931,471	48,058,519
流動負債	10,717,016	9,507,471	10,718,519
固定負債	49,508,000	43,424,000	37,340,000
純資産	4,091,788	-13,382,063	-21,860,287
資本金	3,000,000	3,000,000	3,000,000
売上高	102,739,897	70,563,312	87,077,602
経常利益	303,078	-17,557,452	-8,199,589

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自己資本比率 純資産/資産×100	6.4%	-33.8%	-83.4%
負債比率 (流動負債+固定負債)/純資産×100	1471.9%	-395.5%	-219.8%
固定比率 固定資産/純資産×100	90.6%	-42.5%	-23.2%
流動比率 流動資産/流動負債×100	565.6%	356.2%	197.2%
固定長期適合率 固定資産/(純資産+固定負債)×100	6.9%	18.9%	32.7%
総資産回転率 売上高/資産×100	159.7%	178.4%	332.4%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	0.5%	-44.4%	-31.3%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
<p>3期目の1年目ということもあり、新規の事業もいくつか実施した。来館者を増やす事も重要だが、一時的なイベントだけでなく、継続して次に繋げることができるものを今後増やしていく必要がある。</p> <p>これまでコロナの影響で制限が出ていた人数や内容も、今年度から徐々に緩和していったことで、講座やイベントの参加者が増加した。恒例の事業に加えて、特に若い世代の人たちが参加しやすいような展示やイベントを工夫しながら行ってきたい。</p> <p>地域の方や農家組合との繋がりが広がり、寄贈いただく資料も増えてきた。寄贈資料を展示や教育普及にどう活用して還元していくかを、具体的なビジョンを持って進めていきたい。</p>
市の評価
<p>3期目に入り、維持管理・企画運営・サービスと様々な面での期待が高まっているが、まずは1年目を安定した施設運営のもと無事安全に終えられたことを評価したい。アンケートの内容を見ても一様に満足度は高く、良質なサービスを提供できているが、参画年齢層に偏りがあるのも事実で、課題解決に向けた取組の強化を始めた1年目と言える。すぐに成果に表れることは難しいかもしれないが、公式LINEアカウントや、新規自主事業の開催等、明るい話題も多く、今後に期待が持てる運営内容であると言える。</p> <p>ここ数年学芸員など職員体制を安定して継続できているのも評価できる点であり、長期継続勤務による能力向上・能率アップを実現することで、通常業務の質を落とすことなく新しい取組を実現させて欲しい。</p> <p>市との関係も良好で、小さなことでも迅速に相談があり、対応までのタイムラグがなく、とても助かっている。引き続き、事業の企画・計画力の発揮と、手堅い維持管理をお願いしたい。</p>